

平成 29 年 4 月 25 日

糖尿病が新たに加わりました。(赤字追記)

関係者各位

第 3 回 Eli Lilly 社“Innovation Day Japan”開催について

米国の大手製薬企業のひとつである Eli Lilly 社（以下、Lilly）では、がんにおける創薬新規ターゲット、新規基盤技術及び治療や診断をサポートするデバイスと製剤技術に関し、大学、研究機関、バイオ企業、製薬企業に所属する研究者の方々と近未来的な共同研究を目的として、第 3 回 “Innovation Day Japan”を開催します。

前回と同様に、名古屋大学医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センターは Lilly 社の依頼を受け、“Innovation Day Japan”の開催に向けて、候補シーズの選定に協力することとなりました。先生方のご研究の発展や、候補物質の上市に向けた開発という意味では、大きく前進する機会となる可能性を秘めるものであり、積極的にご参加を検討していただけますと幸いです。

1. “Innovation Day Japan”とは？

研究者と Lilly とのマッチングを目的として開催されます。“Innovation Day Japan”の開催日には、Lilly 米国本社の研究所トップである Jan Lundberg 博士、がん領域、基盤技術領域、デバイス領域のトップ研究者 10 名程度が来日し、参加研究者のプレゼンテーションを聴講、討議を行います。Lilly 側から興味の意味表明がされた場合には、当該研究について Lilly との共同研究契約に向けた交渉が開始されることとなります。

過去 2 年間、2 回にわたり東京にて Innovation Day Japan を開催し、延べ 70 以上の大学、研究機関、バイオ企業、製薬企業が参画しています。そのうち、30 以上の案件が招待され、さらに第 1 回開催分の 3 案件につきまして共同研究契約を締結しました（下述）。現在、他案件につきましては CDA（秘密保持契約）、MTA（Material Transfer Agreement / サンプル評価）を締結し、順次最終評価を行っています（添付資料参照）。

なお、本年度の開催時期は、2017 年 9 月 7 日（木）、8 日（金）の開催を予定しています。

2. “Innovation Day Japan” これまでの成果（共同研究契約）

| | | | |
|-------|------------|--------|----------------------------|
| 研究機関名 | 国立がん研究センター | 金沢医科大学 | 大阪大学 |
| 分野 | 進行胃癌 | びまん性胃癌 | 代謝 |
| 内容 | バイオマーカー探索 | 適応拡大 | 病態生理学に関連した肥満の進行プロセスに着目した研究 |

3. “Innovation Day Japan”の開催までのステップ及び応募方法について

“Innovation Day Japan”の開催までのステップは、**添付資料**に記載のとおりですが、まずは、下記要領にて応募をしていただく必要がございます。

【応募方法】

下記に該当する研究テーマについて、開示可能な情報のみで（Non-confidential 情報ベースで）、5～10枚程度の資料を**英語**で作成いただき、**5月11日（木）まで（糖尿病領域は5月25日（木）まで）**に下記の提出先まで、**PDFデータ**で提出してください。なお、該当大学に置かれましてはVC（ベンチャーキャピタル）投資候補案件、大学発ベンチャーも視野に入れていただけると幸いです。

研究テーマ

1. がん

1) 及び2) がマスト、3) はもし可能であれば

1) 新規の治療方法、バイオマーカー、実験モデル又は分子標的に関する研究

なお、分子標的に関しては動物実験で確認されているか、ヒト臨床データとの関連が示されていること。

2) 以下の何れかに該当又は応用できるもの

① がん免疫療法

② シグナル伝達系に作用（例. K-ras）

③ 腫瘍微小環境に作用（例. 血管新生）

④ アジアに高頻度な疾患（例. 胃がん、肝がん、胆道癌、非小細胞肺癌の EGFR 変異）

3) ヒット化合物、動物実験データ又はヒト臨床検体データ

2. 基盤技術

1) マイクロバイオーム

① 微生物叢の操作・培養・解析技術

② 日本人関連情報の収集・解析

③ プレバイオティクス、プロバイオティクス、合成生物学領域

④ 自己免疫疾患、糖尿病、神経変性疾患等への治療応用

2) オリゴヌクレオチド

① アンチセンス、siRNA、アプタマー等の核酸医薬品

② ナノパーティクルデリバリー技術

3) ゲノム編集技術及び遺伝子治療

① CRISPR/Cas9 及び改変型 Cas

② 遺伝子修飾、調節等の技術、次世代型 AAV ベクター

4) 細胞療法

- ① iPS 細胞及び成体幹細胞による細胞療法技術

5) エクソソーム

- ① エクソソームの機能解析、分泌阻害等
- ② エクソソームを標的としたがんの診断・治療技術

3. デバイス

IoT デバイス、電子部品（センサー、電源、通信など）の小型化技術、医療用アルゴリズム、バイオ製剤の経口投与技術、バイオ製剤の安定性向上技術

4. 糖尿病

1) インスリン

次世代インスリン（基礎、ウルトララピッド、高濃度、熱安定）、グルコース感知インスリン、溶解性グルカゴン

2) インクレチン

経口インクレチン、多機能インクレチン、インクレチンコンビネーション、次世代インクレチン

3) 血糖降下作用+1

体重減少、血圧低下、脂質低下

4) 合併症

糖尿病性腎症

5) 人工すい臓、β細胞再生、ペプチド・タンパクの経口デリバリー

<今後のスケジュール>

- 5月11日： 応募資料（開示可能な情報のみ）、5～10枚程度の資料（PDFデータを英語で作成）を先端医療・臨床研究支援センターに提出
- 5月12日： 応募資料を先端医療・臨床研究支援センターから Lilly 社に提出
- 5月25日： 糖尿病（上述と同じ）
- 6月末頃： Lilly 社内での1次、2次スクリーニング終了、結果を先端医療・臨床研究支援センターに連絡
その後、先端医療・臨床研究支援センター又は Lilly 社から各研究者へ連絡
各研究者、各研究機関、名古屋大学及び Lilly 間で、必要に応じて秘密保持契約後、Lilly 社より“**Innovation Day Japan**”への招待状をご送付
- 7～8月： “**Innovation Day Japan**”開催（東京）
- 9月7日・8日： 研究者による20-30枚のPPTスライドによるプレゼンテーション（会議時間は約1時間：予定）

提出先・問合せ先

名古屋大学医学部附属病院 先端医療・臨床研究支援センター

(名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部)

担当者：浜田 修子

TEL：052-744-2942、FAX：052-744-1303

e-mail: hamashu@aip.nagoya-u.ac.jp

Eli Lilly 社について

1876年設立、昨年140周年を迎えた数少ないM&Aを経験していないグローバル大手製薬企業である。創業以来、イノベーションを志向し、新規薬剤の開発に非常に注力している。インスリンの製剤化にカナダのトロント大学と共同、世界で初めて成功し（1922年）、がん分野ではブロックバスター薬剤となった代謝拮抗剤のアリムタをプリンストン大学のテイラー教授から権利許諾を受け上市に成功した経験などがある。ジプレキサ（統合失調症）、サインバルタ（抗うつ剤）、シアリス（ED、前立腺肥大他）など他にも多数のブロックバスターを創出した。主力研究領域はがん、中枢（アルツハイマー、パーキンソン病）、自己免疫疾患、痛み、糖尿病の5つである。